

(11)Publication number : 2001-186575
(43)Date of publication of application : 06.07.2001

(30)Priority

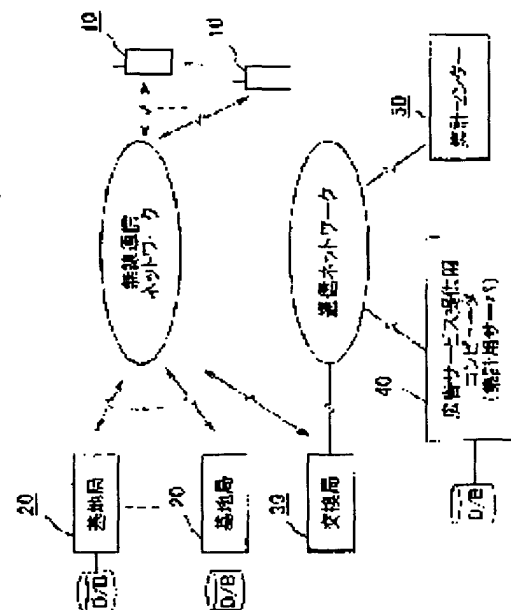
Priority number : 11293778 Priority date : 15.10.1999 Priority country : JP

(54) ADVERTISEMENT INFORMATION PROCESSING METHOD IN PORTABLE PHONE SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an advertisement information processing method in a portable phone system, where a service to a user itself such as reduction in a communication fee of the user itself as a compensation of displaying an advertisement to a portable phone terminal, such as a portable phone and a PHS and to provide a service with high effectiveness even for a sponsor.

SOLUTION: An image, having an advertisement element by a sponsor, is displayed on a screen of a portable phone terminal 10, and a communication of a person processing the portable phone terminal 10 is discounted as a compensation of the advertisement display or economical benefit is served to the person processing the portable phone terminal 10 as the compensation of viewing the advertisement from the sponsor. Furthermore, in a standby state of the portable phone terminal 10, for example, an image for questionnaire by the sponsor is displayed on the screen of the portable phone terminal 10, and reply data of the possessor entered with respect to the questionnaire items included in the displayed image are automatically transmitted from the portable phone terminal 10 to a questionnaire logging computer (advertisement service computer 40 or a tabulation center 50).



LEGAL STATUS

| | |
|---|------------|
| [Date of request for examination] | 31.01.2000 |
| [Date of sending the examiner's decision of rejection] | |
| [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration] | |
| [Date of final disposal for application] | |
| [Patent number] | 3315966 |
| [Date of registration] | 07.06.2002 |
| [Number of appeal against examiner's decision of rejection] | |
| [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] | |
| [Date of extinction of right] | |

Copyright (C): 1998.2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-186575

(P2001-186575A)

(43)公開日 平成13年7月6日(2001.7.6)

| (51)Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | テーマコード [*] (参考) |
|------------------------------------|-------|---------------|--------------------------|
| H 0 4 Q 7/38 | | G 0 6 F 13/00 | 3 5 4 D 5 B 0 4 9 |
| G 0 6 F 13/00 | 3 5 4 | H 0 4 M 3/487 | 5 B 0 8 9 |
| | | | 11/08 5 K 0 1 5 |
| H 0 4 M 3/487 | | | 15/00 Z 5 K 0 2 5 |
| | | H 0 4 B 7/26 | 1 0 9 T 5 K 0 6 7 |
| | | | |
| 審査請求 有 請求項の数22 O L (全 14 頁) 最終頁に続く | | | |

(21)出願番号 特願2000-17194(P2000-17194)

(22)出願日 平成12年1月26日(2000.1.26)

(31)優先権主張番号 特願平11-293778

(32)優先日 平成11年10月15日(1999.10.15)

(33)優先権主張国 日本(J P)

(71)出願人 397009200

株式会社エーディーケー

埼玉県上尾市愛宕1丁目16番8号

(72)発明者 新井 一夫

埼玉県上尾市愛宕1-16-8 株式会社エー

ディーケー内

(74)代理人 100078776

弁理士 安形 雄三

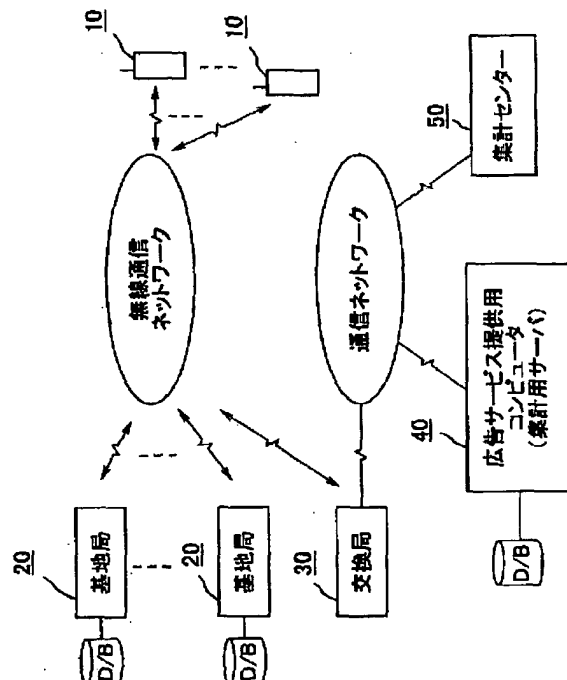
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯電話システムにおける広告情報処理方法

(57)【要約】

【課題】 携帯電話やPHS端末等の携帯電話端末側に広告を表示する対価として、その利用者個人の通信費用を安価にする等の利用者自身に対するサービスを提供することができると共に、広告主にとっても効果の高いサービスを提供することが可能な携帯電話システムにおける広告情報処理方法を提供する。

【解決手段】 携帯電話端末10の画面に広告主の広告要素を有する画像を表示すると共に、その広告表示の対価として該携帯電話端末10を所有する個人の通信料金を割引く、又は、広告主からの広告視聴への対価としての経済的便益を提供するようにする。また、例えば、携帯電話端末10の待機時に広告主のアンケート調査用の画像を表示すると共に、前記画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを前記携帯電話端末10から前記アンケートの集計用コンピュータ(広告サービス提供用コンピュータ40又は集計センタ50)に自動的に送信するようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告サービス提供用コンピュータから無線通信ネットワークを介して携帯電話端末に対して広告情報を提供する携帯電話システムにおける広告情報処理方法であって、前記携帯電話端末の画面に広告主の広告要素を有する画像を表示すると共に、その広告表示の対価として該携帯電話端末を所有する個人の通信料金を割引く、又は、前記広告主からの広告視聴への対価としての経済的便益を提供することを特徴とする携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項2】 前記通話料金の割引きは、前記広告表示をした当該携帯電話端末の1アクセス単位、若しくは1回当たりの平均通話時間を基に設定された割引き率に応じて実施するようになっている請求項1に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項3】 前記広告要素を有する画像は、前記無線通信ネットワークを介して前記携帯電話端末の記憶部にダウンロードされた画像データに基づき、前記携帯電話端末の着信時、発信時、通話中、通話終了時及び待機時のうち少なくともいずれか1つ以上を含む状態で表示するようになっている請求項1又は2に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項4】 前記広告の内容が年齢層、性別、職業、趣味及び住所のいずれかの要素を少なくとも1つ以上を含むカテゴリに対応して設定されており、前記携帯電話端末若しくは前記広告の提供サービスシステムの加入者情報に含まれる個人情報に基づいて前記カテゴリに対応する携帯電話端末を選択し、該携帯電話端末を対象として当該カテゴリの広告を提供するようになっている請求項1乃至3のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項5】 前記広告要素を有する画像データが各地域に対応した画像データを含み、前記携帯電話端末の現在地情報に基づいて当該地域の広告を自動的に選択して表示するようになっている請求項1乃至4のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項6】 前記携帯電話端末の着信時に発声する着信音に少なくともメロディを含む広告主の宣伝音を入れて音声表示するようになっている請求項1乃至5のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項7】 前記携帯電話端末に発声する着信音がメロディと該メロディとは異なる広告音声とから成る広告主の宣伝音を含み、前記携帯電話端末の着信時から該携帯電話端末の通話開始操作がされるまでの間に前記メロディと前記広告音声とを交互に音声表示するようになっている請求項6に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項8】 前記広告要素を有する画像データがアンケート調査を目的としたアンケート形式の画像データを

含み、前記携帯電話端末の待機時に前記広告主のアンケート調査用の画像を表示し、前記携帯電話端末の表示画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを前記携帯電話端末から前記広告要素を有するデータの中で指定された宛先に自動的にダイヤリングして送信するようになっている請求項1乃至7のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項9】 前記広告要素を有する画像データが懸賞付き広告の画像データを含み、前記携帯電話端末の表示画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを前記携帯電話端末から前記広告要素を有するデータの中で指定された宛先に自動的にダイヤリングして送信するようになっている請求項1乃至8のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項10】 前記広告要素を有する画像を、前記携帯電話端末の着信時に該携帯電話端末の画面に発呼側の携帯電話端末の電話番号と前記広告要素を有する画像とを同時に若しくは交互に表示するようになっている請求項1乃至9のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項11】 前記画面に表示する広告の内容の区切りをマークで区切って表示すると共に、前記マークで区切られた広告の内容を当該広告の最初のページとして前記当該広告の次のページ情報を選択可能に表示するようになっている請求項1乃至10のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項12】 前記広告のレベルを前記マークの個数で表し、前記マークにより当該レベルを認識可能に表示するようになっている請求項11に記載の広告情報処理方法。

【請求項13】 前記広告の最初のページとして当該広告のタイトルを表示し、該タイトルが選択された場合に次のページ情報を取得して詳細情報を表示するようになっている請求項11又は12に記載の広告情報処理方法。

【請求項14】 前記広告のレベルとして少なくとも地方レベルを設け、地方レベルの広告の場合には、前記携帯電話端末若しくは前記広告の提供サービスシステムの加入者情報に含まれる住所情報に基づいて当該加入者の地方に対応する広告情報を表示するようになっている請求項11乃至13のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項15】 前記画面に表示する広告が少なくとも文字列から成る広告を含み、前記マークで区切られた広告の内容を前記画面上で1行又は複数行平行してスクロール表示するようになっている請求項11乃至14のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項16】 前記マークが前記画面の中央部より通過した状態で所定のボタンが押された場合に、前記マー

クに対応する広告の次のページ情報を取得して表示するようになっている請求項15に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項17】 前記携帯電話端末の画面上で表示対象の広告のレベル毎に表示列を設け、少なくとも全国レベルと地方レベルの広告とを含む複数レベルの広告の内容を前記表示列に対応させて表示するようになっている請求項1乃至10のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項18】 前記画面上に表示された各広告の内容を当該広告の最初のページとして前記各広告の次のページ情報を選択可能に表示するようになっている請求項17に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項19】 前記各広告の次のページ情報の選択は、前記画面に表示されるカーソルを前記携帯電話端末の操作手段により移動操作して前記カーソルで指示されたものを選択するようになっている請求項18に記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項20】 前記広告要素を有する画像に広告要素を有しない内容を付加して提供するようになっている請求項1乃至19のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項21】 前記広告サービス提供用コンピュータは、前記携帯電話端末に表示される広告の依頼を広告主の端末から通信ネットワークを介して受付ける第1のステップと、前記広告の提供対象となる顧客のカテゴリの選択画面を前記通信ネットワークを介して前記広告主の端末に表示する第2のステップと、前記広告主の端末側で前記カテゴリに対応して作成された広告の情報を前記通信ネットワークを介して受信して記憶する第3のステップと、前記選択画面の選択情報に基づいて当該カテゴリの広告の提供対象となる顧客を判断し該顧客の携帯電話端末を対象として前記当該カテゴリの広告情報を提供する第4のステップとを有する請求項1乃至20のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【請求項22】 前記広告視聴への対価として提供される経済的便益は、金銭、割引サービスのいずれか1つ以上を含む請求項1、又は、請求項3乃至22のいずれかに記載の携帯電話システムにおける広告情報処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話端末を対象とした無線通信による携帯電話システムに関し、特に、携帯電話端末側に広告要素を有する表示をすると共に、その広告表示の対価として該携帯電話端末を所有する個人の通信料金を割引くサービスを提供したり、広告主からの広告視聴への対価としての経済的便益を提供したりするようにした携帯電話システムにおける広告情報

処理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】現在、一般の電話や携帯電話に対しては天気予報、電話番号案内、病院案内などの様々なサービスが提供されており、特に、携帯電話の分野では、各通信事業者が加入者を獲得するために、音声による通話機能だけでなくデータ通信の機能、電子メール機能、メロディ作曲機能、占い機能など様々なサービスが提供されている。これらのサービスは、例えば利用者（電話加入者）が所定の電話番号をダイヤルしてサービスの提供と接続することにより利用することができ、有料のサービスについてはその利用料が通話料金に加算されて利用者に請求されるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、現在は携帯電話がかなり普及し、特に若者の普及率が高くなっている。そして、チャクメロと称し自分の好きなメロディを着信時に鳴らすことが流行っている。また、現在の携帯電話は相手の電話番号等の画面表示機能を備えており、誰でも電話がかかった時には着信音を聞き、その時の画面は必ず見るので、これらの着信音や画面上に広告を入れることは、非常に広告効果が高い。しかし、単に広告を人間の音声で提供すると、企業に対して嫌な印象を与える恐れがあり、逆効果になる場合が想定できる。また、広告を携帯電話側に一方的に表示したのでは、例えばその広告料金をもとに、個々のサービスの利用料金の低価格化や無料化が図られ、更に加入者全体の通話料金の低価格化が図られても、広告サービスを利用しない人にとっては間接的なメリットしかなく、携帯電話側への広告表示を利用者に受入れてもらうのは非常に困難である。

【0004】本発明は上述のような事情から成されたものであり、本発明の目的は、携帯電話やPHS（Personal Handyphon System）端末等の携帯電話端末側に広告を表示する対価として、その利用者個人の通信費用を安価にする等の利用者自身に対するサービスを提供することができると共に、広告主にとっても効果の高いサービスを提供することが可能な携帯電話システムにおける広告情報処理方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、広告サービス提供用コンピュータから無線通信ネットワークを介して携帯電話端末に対して広告情報を提供する携帯電話システムにおける広告情報処理方法に関するものであり、本発明の上記目的は、前記携帯電話端末の画面に広告主の広告要素を有する画像を表示すると共に、その広告表示の対価として該携帯電話端末を所有する個人の通信料金を割引く、又は、前記広告主からの広告視聴への対価としての経済的便益を提供することによって達成される。

【0006】さらに、前記通話料金の割引きは、前記広

告表示をした当該携帯電話端末の1アクセス単位、若しくは1回当たりの平均通話時間を基に設定された割引率に応じて実施すること；前記広告要素を有する画像は、前記無線通信ネットワークを介して前記携帯電話端末の記憶部にダウンロードされた画像データに基づき、前記携帯電話端末の着信時、発信時、通話中、通話終了時及び待機時のうち少なくともいずれか1つ以上を含む状態で表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0007】また、前記広告の内容が年齢層、性別、職業、趣味及び住所のいずれかの要素を少なくとも1つ以上を含むカテゴリに対応して設定されており、前記携帯電話端末若しくは前記広告の提供サービスシステムの加入者情報に含まれる個人情報に基づいて前記カテゴリに対応する携帯電話端末を選択し、該携帯電話端末を対象として当該カテゴリの広告を提供すること；前記広告要素を有する画像データが各地域に対応した画像データを含み、前記携帯電話端末の現在地情報に基づいて当該地域の広告を自動的に選択して表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0008】また、前記携帯電話端末の着信時に発声する着信音に少なくともメロディを含む広告主の宣伝音を入れて音声表示すること；前記携帯電話端末に発声する着信音がメロディと該メロディとは異なる広告音声とから成る広告主の宣伝音を含み、前記携帯電話端末の着信時から該携帯電話端末の通話開始操作がされるまでの間に前記メロディと前記広告音声とを交互に音声表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0009】また、前記広告要素を有する画像データがアンケート調査を目的としたアンケート形式の画像データを含み、前記携帯電話端末の待機時に前記広告主のアンケート調査用の画像を表示し、前記携帯電話端末の表示画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを前記携帯電話端末から前記広告要素を有するデータの中で指定された宛先に自動的にダイヤリングして送信すること；前記広告要素を有する画像データが懸賞付き広告の画像データを含み、前記携帯電話端末の表示画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを前記携帯電話端末から前記広告要素を有するデータの中で指定された宛先に自動的にダイヤリングして送信すること；前記広告要素を有する画像を、前記携帯電話端末の着信時に該携帯電話端末の画面に発呼側の携帯電話端末の電話番号と前記広告要素を有する画像とを同時に若しくは交互に表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0010】また、前記画面に表示する広告の内容の区切りをマークで区切って表示すると共に、前記マークで区切られた広告の内容を当該広告の最初のページとして前記当該広告の次のページ情報を選択可能に表示すること；前記広告のレベルを前記マークの個数で表し、前記

マークにより当該レベルを認識可能に表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0011】また、前記広告の最初のページとして当該広告のタイトルを表示し、該タイトルが選択された場合に次のページ情報を取得して詳細情報を表示すること；前記広告のレベルとして少なくとも地方レベルを設け、地方レベルの広告の場合には、前記携帯電話端末若しくは前記広告の提供サービスシステムの加入者情報に含まれる住所情報に基づいて当該加入者の地方に対応する広告情報を表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0012】また、前記画面に表示する広告が少なくとも文字列から成る広告を含み、前記マークで区切られた広告の内容を前記画面上で1行又は複数行平行してスクロール表示すること；前記マークが前記画面の中央部より通過した状態で所定のボタンが押された場合に、前記マークに対応する広告の次のページ情報を取得して表示すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0013】また、前記携帯電話端末の画面上で表示対象の広告のレベル毎に表示列を設け、少なくとも全国レベルと地方レベルの広告とを含む複数レベルの広告の内容を前記表示列に対応させて表示すること；前記画面上に表示された各広告の内容を当該広告の最初のページとして前記各広告の次のページ情報を選択可能に表示すること；前記各広告の次のページ情報の選択は、前記画面に表示されるカーソルを前記携帯電話端末の操作手段により移動操作して前記カーソルで指示されたものを選択すること；前記広告要素を有する画像に広告要素を有しない内容を付加して提供すること；によってそれぞれ一層効果的に達成される。

【0014】また、前記広告サービス提供用コンピュータは、前記携帯電話端末に表示される広告の依頼を広告主の端末から通信ネットワークを介して受付ける第1のステップと、前記広告の提供対象となる顧客のカテゴリの選択画面を前記通信ネットワークを介して前記広告主の端末に表示する第2のステップと、前記広告主の端末側で前記カテゴリに対応して作成された広告の情報を前記通信ネットワークを介して受信して記憶する第3のステップと、前記選択画面の選択情報に基づいて当該カテゴリの広告の提供対象となる顧客を判断し該顧客の携帯電話端末を対象として前記当該カテゴリの広告情報を提供する第4のステップとを有すること；前記広告視聴への対価として提供される経済的便益は、金銭、割引サービスのいずれか1つ以上を含むこと；によって一層効果的に達成される。

【発明の実施の形態】

【0015】図1は、本発明に係る携帯電話システムの全体構成の一例を示している。本システムは、無線通信インターフェースを有する携帯電話やPHS端末等の携帯電話端末10と、サービスエリアをカバーする基地局

20と、各基地局20の制御及び他の通信ネットワークとの接続制御をする交換局30と、各種広告サービスを提供するための広告サービス提供用コンピュータ40と、後述するアンケート等の回答を集計する集計センタ（本例では、広告主の集計用コンピュータ）50とから構成される。

【0016】広告サービス提供用コンピュータ40は、各企業（広告主）から依頼された広告情報をデータベースに登録して一括管理すると共に、各種広告サービスの対象となる広告データを通信ネットワークを介して携帯電話端末10に送信するコンピュータであり、アンケート等の回答を集計して集計センタ50へ送信する集計サーバ、広告データなどをインターネットを利用して携帯電話端末10側にメールで送信するメールサーバとしての機能も備えている。本発明では、携帯電話端末の画面に広告主の広告要素を有する画像（若しくは着信メロディ等の音声による広告）を表示すると共に、その広告表示の対価として該携帯電話端末を所有する個人の通信料金を割引くサービスを提供、或いは、広告主からの広告視聴への対価としての経済的便益を提供する。なお、本発明で言う「経済的便益」とは、広告視聴への対価として提供される金銭、インセンティブ等であり、インセンティブに相当するものとしては、割引券、ポイント、特定商品や特定有償サービスに対する割引等による割引サービスなど、消費者の購買意欲等を高めるものが全て含まれる。これらの経済的便益は、例えば広告主が適宜選択して当該広告毎に提供される。以下に説明する実施の形態では、個人の通信料金を割引く場合を具体例として説明する。但し、この個人の通信料金の割引サービスは、現時点では電気通信事業法（郵政省令）で規制されており、法改正が成された時点で提供されるサービスである。

【0017】図2は、本発明に係る広告データの処理の流れを模式図で示しており、企業の広告を依頼されてから個人の通信料金を請求するまでの流れを、同図を参照して説明する。

【0018】企業から広告の依頼を受けると、広告サービス提供用コンピュータ40では、その広告情報を基に広告データを作成して広告主毎、広告サービスの種別毎に検索可能にデータベースに登録する。ここで、広告サービスの種別とは、以下に説明する処理形態が異なる種類の広告を特定するための種別である。

【0019】携帯電話端末10に対して音声若しくは画像により表示される広告は、着信時、発信時、通話中、通話終了時に着呼側と発呼側の双方若しくは一方に表示される広告と、携帯電話端末10が待機状態のときに表示される広告とがある。なお、本発明で言う「音声」とは、メロディ、効果音、人間の音声等の可聴音のことを言う。

【0020】上記の着信時、発信時、通話中、通話終了

時の状態のいずれか、或いはこれらを組合せた状態で表示される広告の種類としては、メロディ（コマーシャルソング等の曲）、広告音声入りメロディなどの音声による広告と、画像表示による広告とがある。一方、待機状態のときに表示される広告の種類としては、表示のみの広告と問合／応答（双方向の通信）形態の広告とがある。そして、表示のみの広告としては、例えば、個人情報に基づき年齢や性別に応じて表示する広告、現在地情報に基づき地域に対応させて表示する広告、ゲームプレイが可能な広告付きゲームなどがあり、問合／応答方式の広告としては、後述するアンケート形式の広告や懸賞付き広告などがある。

【0021】企業（広告主）は、これらの種類の広告を選択して1つ又は複数依頼することができる。また、利用者（加入者）は、広告サービスの加入時に企業と広告の種類を選択することができる。さらに、携帯電話端末10が待機状態のときに対象となる広告を携帯電話端末10の操作で選択することもできる。これらの選択された曲目の情報は、例えば基地局20を介して広告サービス提供用コンピュータ40の集計用サーバに送信され、人気度の尺度にして整理後、当該企業の集計センタ50に送信されて提供される。広告主は、これらの広告表示をする対価として、携帯電話端末の利用者（加入者）個人の通信料金をある程度負担する。これにより、携帯電話端末の利用者は通信料金の割引サービスを受けることができようになり、通信料金の負担が軽減される。

【0022】本システムでは、携帯電話端末10が接続状態の時に表示される広告のデータは、トラフィックが少ない時に1つ又は複数の広告のデータを広告サービス提供用コンピュータ40から基地局20を介して携帯電話端末10に予めダウンロードしておき、例えば着信時から通話を開始するまでの間に上記広告を表示するようにしている。さらに、通話中（例えば通話開始ボタンを押してから数秒間）と通話終了時にも同様の広告を表示できるようにしている。

【0023】また、本システムでは、待機状態の携帯電話端末10に対しては、対象となる広告のデータを広告サービス提供用コンピュータ40から例えば基地局20に予めダウンロードしておき、トラフィックが少ない時に1つ又は複数の当該広告データを基地局20から携帯電話端末10に送信して表示するようにしている。

【0024】また、携帯電話端末10に送られた1つ又は複数の広告は、待機状態において選択して表示できるようにしている。例えば、複数の広告のデータが携帯電話端末10に送信された場合は、優先順位の高いものが表示されるが、携帯電話端末10の記憶部には所定数の広告がサイクリックに若しくは当該広告主のデータ全体が書換えられて記憶され、所望の広告を利用者が選択して表示できるようにしている。また、ダウンロードされたメロディは、携帯電話端末10に記憶されている着信

メロディとともに選択して利用できるようにしている。このダウンロードの対象となるメロディは、ヒットメロディであれば広告効果も高くなる。また無料で最新のメロディが利用できるもので利用者にとって非常にメリットがある。

【0025】そして、上記のような各種の広告サービスを利用した利用者に対しては、その対価として利用者自身の通信料金が割引されて課金処理がされ、割引後の通信料金が各利用者に請求されるようになっている。

【0026】次に、広告主に対する広告料金と通話料金の割引方法について説明する。

【0027】広告主が負担する広告料金は、広告される時間、期間（日数、月）、データ量（1データの長さ等）、広告を提供する時間帯（混んでいる時間帯等）などに応じて設定される。また、1アクセス単位幾らの設定もできるようになっている。

【0028】前述のように、広告サービスを利用した場合は、利用者個人に対する通話料金の割引サービスを受けることができる。個人の通話料金は1回当たりの通話時間によって変わるので、広告サービスの1回のアクセスで幾らと言うように、1アクセス単位で割引く。若しくは一回当たりの平均通話時間を基に割引き率を設定する。

【0029】次に、本発明に係る携帯電話端末10の構成について説明する。

【0030】図3は、携帯電話端末の構成の一例を模式図で示しており、携帯電話端末10は、CPU11、操作ボタン12、グラフィック表示機能を有する表示回路13、音声処理回路14、無線通信ユニット15、音声発声ユニット16等から構成される。本発明に係る広告用の着信音と画像表示の機能は、携帯電話端末10に予め設定されており、端末にその機能が無いと動作しない。具体的な機能としては、広告サービス対応として、オン/オフの切替え機能、着信時にメロディ/効果音声を発声する機能、メロディ等のデータ切替え機能、選択表示機能、最低限の画面表示、グラフィックデータの画像表示機能を備えており、広告サービスに係る制御プログラム、制御データがROM、RAMに格納されていることを前提としている。また、広告情報のデータをメールで受信して更新する機能を備えていることが望ましい。

【0031】上述のような構成において、携帯電話端末（移動局）10の着信時の処理について図4のフローチャートの流れに沿って説明する。なお、着信時の広告表示による通話料金割引サービスの利用条件は、既に個人データ（年齢、性別、名前等）を登録し、携帯電話端末を使用していること、更に、既にメロディ付き広告メッセージが利用者によって選択されいることが条件であり、当該広告メッセージのデータが携帯電話端末10の待機時に予めダウンロードされているものとする。

【0032】発呼側の携帯電話端末10と着呼側の携帯電話端末10との接続が確立されると、着呼側の携帯電話端末10の制御部（CPU11）では、受信データが広告サービスのデータで、且つ広告サービスの表示モードが選択されているか否かを判定し（ステップS1）、選択されていない場合は制御モードを通常動作のモードとし、予め設定されている通常の着信メロディ等を音声発声ユニット16から発声する（ステップS2）。そして、通話開始ボタンが押下されると（ステップS3）、呼出音等の発声を停止して発呼側との通話を開始する（ステップS4）。

【0033】一方、上記ステップS1において、広告サービスの表示モードが選択されている場合は、制御モードを広告サービスのモードとし、例えば広告サービスを利用したことを示す情報を基地局20に送信して通話料金の割引処理を行なうと共に（ステップS5）、広告メロディ若しくは広告音声入りのメロディを音声発声ユニット16から発声し、更に、相手先の番号表示と共に広告の画像を表示部に表示する。

【0034】上記メロディは、例えば当該企業の広告メロディ（コマーシャルソング等の曲）或いは、当該企業の広告音声入りの広告メロディである。ここで、メロディとする理由は、単に広告を音声で提供する場合には、企業に対して嫌な印象を与える恐れがあり、逆効果になることが想定できるためであり、広告音声入りの場合には、メロディの後に短い音声で広告を音声発声ユニット16から出力するようにしている。

【0035】また、上記出力対象となる広告メロディは、前述のように各企業毎に1つ又は複数種類用意されており、利用者は所望の企業の広告メロディを選択できるようになっている。ここでは、利用者が選択した企業の複数のメロディ入りの広告データ（音声データ）と、表示部に表示される当該企業の広告データ（グラフィック画像データ）とが、それぞれ携帯電話端末10にダウンロードされている場合を例とする。

【0036】この場合、着呼側の携帯電話端末10の制御部では、記憶部に記憶されている複数のメロディの中から予め選択された当該メロディを所定時間出力し、続いて短い音声で広告を音声処理回路14を介して音声発声ユニット16から出力する（ステップS6）。

【0037】表示部に表示する広告データは、上記メロディに対応する当該企業の広告データであり、制御部ではこの広告と相手の電話番号とを表示回路13を介して液晶画面等から成る表示部に交互に表示、又は同一画面に同時に表示する（ステップS7）。携帯電話端末10の制御部では、操作ボタン12（通話開始ボタン）が押下されるまで、上記メロディ入りの広告の音声出力と広告の画像出力を行い、通話開始ボタンが押下されると（ステップS8）、これらの広告表示処理を停止して発呼側との通話を開始する（ステップS4）。

【0038】また、上記ステップS8において通話開始ボタンが押下されて通話中（例えば発呼側との通話を開始した数秒間）に、発呼側及び着呼側、若しくはいずれか一方の携帯電話端末10に広告メッセージを流すこともできる。この場合、通話時には通話開始音、例えばピー音で通話開始になるが、手順としては、通話開始ボタンの押下→広告メッセージ→通話開始音→通話開始→終了（広告サービスのモードにおける処理の終了）という手順、或いは、通話開始ボタンの押下→画像広告表示（ステップS9）→通話開始音→通話開始→音声／画像広告表示（ステップS10）→終了という手順となる。これらの通話中に入れる広告メッセージは、小音量の広告音声、若しくは小音量の広告音声と広告画像であり、通話開始ボタンが押下されるまでに出力されるメッセージとは異なるメッセージ、若しくは同一の連続するメッセージである。

【0039】次に、通話していない待機状態における広告メッセージの表示処理について説明する。

【0040】携帯電話端末10の制御部では通話していない待機状態でも時々、通信して現在地を基地局20側に通知しているが、その時に広告データを基地局20側から広告サービス対象の携帯電話端末10に送信する。この待機時の広告表示機能を選択した利用者に対しても、通話料金を割引くサービスを提供する。以下、携帯電話端末が待機時の処理について図5のフローチャートに従って説明する。なお、待機時の広告表示による通話料金割引サービスの利用条件は、既に個人データを登録し、携帯電話端末を使用していることが条件である。

【0041】携帯電話端末10から現在地を示す信号を受信した基地局20では、当該携帯電話端末10が広告サービス対象端末か否かを判断し（ステップS11）、広告サービス対象端末でなければ、制御モードを通常動作のモードとして通常の処理を実施する（ステップS12）。一方、広告サービス対象端末であれば、その携帯電話端末10が位置する当該エリアにおける現在のトラフィックが所定量以下であるか否かを判定し（ステップS13）、トラフィックが所定量を超えているのであれば、制御モードを通常動作のモードとして通常の処理を実施する（ステップS12）。上記ステップS13においてトラフィックが所定量以下であれば制御モードを広告サービスのモードとし、当該携帯電話端末10と接続して広告データ（画像データ）を送信する。ここで、広告データの送信をトラフィックの少ない時間に限定するのは、広告主が負担する通信料金を低く抑えるためである。また、送信対象の広告データは本例では画像データのみであり、画像データを圧縮して送信することで通信時間の短縮を図っている。

【0042】この広告データの送信処理は、例えば、広告データの更新がされる毎に、当該広告に対応して指定された時間帯に当該広告データを送信していない携帯電

話端末10を対象として行われるようになっている。

【0043】上記広告データは、表示のみの広告データと、自動アンケート調査を目的としたアンケート形式の広告データ等があり、前者の場合は一方送信の形態であり、後者の場合は利用者の回答データが当該企業の集計センタに送信される問合／応答（双方向の通信）の形態となっている。

【0044】送信対象となる広告データは、各企業毎に複数種類の広告データ（特定のキャラクタのグラフィックデータ等）が用意されており、基地局20では、広告サービスの種別（個人情報に基づく広告、現在地情報に基づく広告等）により処理形態を判定して処理する。例えば、個人情報に基づく広告であれば、広告データに性別、年齢に対応した画像データが含まれており、当該携帯電話端末10の個人情報によって当該広告を自動的に選択し、その広告データを送信する。ここで、個人情報とは、住所、性別、年齢等の加入者情報であり、性別又は年齢、若しくは性別と年齢に応じた広告が選択される。例えば、広告の目的にあった特定の年齢層や購買層に絞った広告（女性向の化粧品広告など）が選択される。また、現在地情報に情報に基づく広告であれば、広告データに各地域に対応した画像データが含まれており、当該携帯電話端末10の現在地に対応する地域用の広告を自動的に選択し、その広告データを送信する。例えば、複数店舗を有する店の広告では、利用者の現在地の地域にある店の位置情報（地図の画像等）の広告が選択されて送信される。

【0045】上記広告を自動選択する際に、条件を満たす候補が数多くある場合は、例えば規定数の範囲内で優先順位に応じて特定の候補が自動的に選択される。さらに、個人情報及び現在地情報に加えて時間（時間帯）をパラメータとしてその時の時間に応じた広告を選択するようにしても良い。ここでは、複数の広告を利用者が選択できるように、複数の候補を選択して携帯電話端末10側に送信する場合を例とする（ステップS14）。

【0046】広告データを受信した携帯電話端末10の制御部では、当該データを記憶部に記憶すると共に、その広告データが表示のみの広告（一方送信形態）かアンケート形式の広告（問合応答形態）か否かを判定する（ステップS15）。表示のみの広告で且つ広告表示モードが選択されていれば、表示拒否でないと判定し、受信した時点で当該広告データを表示部に表示する。表示される広告の内容は、目立つように、且つ送信データの量が少なくなるようにプログラム化を図るようにしている。具体的には、左右方向のスクロール、上下方向のスクロール、点滅、画面切替え、変形等の制御をふんだんに使い効果を上げるようにしている。また、記憶部に記憶された複数の広告データ（ゲームプレイが可能な広告付きゲームを含む）を待機状態において携帯電話端末10の操作ボタン12による選択操作で切替えて表示でき

るようにしている（ステップS16）。

【0047】一方、上記ステップS15において、問合／応答の形態の広告であれば、質問の画像を表示し（ステップS17）、各質問に沿って押したボタンのデータを記憶すると共に（ステップS18）、送信用の回答データ（集計用のアンケートデータ）を作成し（ステップS19）、受信データに含まれる指定された宛先（集計用コンピュータ40）に送信し（ステップS20）、広告サービスのモードにおける動作を終了する。本例では、質問に対する回答は、広告データを受信して一旦通信を終了し、待機状態での回答データ入力後に当該の宛先に自動的にダイヤリングして送信する方式としている。

【0048】次に、アンケート形式の広告の処理について図6のフローチャートの流れに沿って具体例を示して説明する。

【0049】携帯電話端末10の制御部では、受信したアンケート形式の広告データに基づいてアンケート調査用の質問事項の画像データを作成し、表示回路13を介して表示部に表示する（ステップS21）。利用者は、アンケートの質問事項に応じて入力手段である操作ボタンを押して答えて行く（ステップS22）。このアンケート形式の広告データは、クイズで遊びながら、知らないうちにアンケートに答えるような形態のものが好ましい。アンケートの質問が終了すると（ステップS23）、携帯電話端末10の記憶部には、当該アンケートの各質問事項に沿って押した操作ボタンの情報が回答データ（例えば質問順にYESが“1”，NOが“0”から成る回答データ）として記憶され、そのデータを基に集計用のアンケートデータが作成される（ステップS24）。そして、携帯電話端末10の制御部では、受信した広告データに含まれる指定された宛先に自動的にダイヤリングして、アンケートデータを送信する（ステップS25）。この回答データの通信に係る費用についても課金はされず、通信料金が1アクセス単位で割りきかれ、若しくは一回当たりの平均通話時間を基に設定された割りき率に応じて割りきかれて課金処理が実行される。

【0050】なお、上記回答データの送信先はアンケートの集計用コンピュータ（広告サービス提供用コンピュータ40の集計用サーバ若しくは企業の集計センタ50）であり、集計用サーバで集計する形態とした場合は、集計用サーバでは各携帯電話端末10からのアンケートの結果を企業毎に集計し、例えば当該企業の設定に応じて定期的に、或いは予め設定された日時に当該企業の集計センタ50に送信する。その際、アンケートの集計結果を基に集計用サーバによってマーケティング調査を自動的に実施し、その調査結果を当該企業の集計センタ50に送信するようにしても良い。一方、企業の集計センタ50で集計する形態とした場合は、送信先の集

計センタ50のサーバアドレスをセットし、直接、集計センタ50のコンピュータに送信する。

【0051】集計センタ50若しくは集計サーバの機能を有する広告サービス提供用コンピュータ40では、アンケートの集計結果を基にマーケティング調査を自動的に実施する。また、アンケートに答えた利用者に対しては例えば景品を送るようにしている。なお、上述した待機時の広告表示は着信時等の広告表示と同様に、広告表示機能を使用するか否かを携帯電話端末側の操作で選択できるようになっており、気分が悪い時に広告が入り、企業のイメージダウンしないようにしている。

【0052】また、本発明では、待機時においては上記のような広告の他に広告付きのゲームやニュース等の情報を無料で提供し、利用した利用者に対して通話料金の割引サービスを実施するようにしている。広告付きのゲームの場合は、広告付きのゲームを無料でダウンロードして提供し、例えばゲーム終了時に広告を表示したり、ゲームの表示キャラクタとして当該企業のキャラクタを使用したりすることで、当該企業の広告を表示する。また、ニュース等の情報提供では、例えば情報の内容に広告を挟んで表示する。

【0053】前述のアンケート形式の広告による自動マーケティング調査は特に有効である。現在は電話マーケティング会社があり、専門に電話オペレータがいて、電話を掛けて調査をしているが、本発明では、オペレータ無しでデータを自動的に集計してマーケティング調査を自動的に実施することができる。

【0054】次に、広告要素を含むクイズ形式の問題に対する回答を集計する懸賞付き広告の処理について、図7のフローチャートの流れに沿って具体例を示して説明する。集計用コンピュータ40に対する送信処理など、全体の処理の流れは前述のアンケート形式の広告の処理とほぼ同等であり、ここでは異なる部分を主に説明する。

【0055】携帯電話端末10の制御部では、受信した懸賞付き広告データに基づいて問題の表示データを作成し、表示回路13を介して表示部に表示する（ステップS31）。その際、利用者は懸賞広告を見て、出題された問題に対する回答を入力する。携帯電話端末10の制御部は、その回答の結果によって次の出題を変更して表示する。例えば、同図7のフローに示すように、最初の問題に対する答えがいずれか（本例では“1”又は“0”）を判断し（ステップS32）、1が押された時は1を記憶すると共に、1に対応する問題を次の問題として出題し（ステップS33）、0が押された時は0を記憶すると共に、0に対応する問題を次の問題として出題する（ステップS34）。そして、全ての出題が終了したのであれば（ステップS35）、キーデータ（例えば各問題のIDと操作ボタンの情報）を回答データ（集計用データ）として、広告データ中の当該企業が指定し

た送信アドレス先に接続して送信し（ステップS36）、広告サービスのモードにおける動作を終了する。

【0056】このように、問合／応答（双方向の通信）の形態では、携帯電話端末10の使用時以外の待機時に、液晶表示画面にアンケート形式の広告や懸賞付き広告を表示し、その広告に回答情報を入れて答えてもらい、そのボタンを押した情報を自動的に集計センターに集め、広告商品のマーケティング情報などを得るようにしている。なお、出題に対する回答に応じて次の出題を変えていく方法を前述のアンケート形式の広告に採用するようにしても良い。

【0057】上述のように、携帯電話端末10に対して広告を提供する場合は、音声による広告、画像（グラフィックデータ、テキスト形式等の文字データによる画像等）による広告、及び両者を組合せた広告の各形態が挙げられる。ここで、利用者にとって最も望ましいと思われる広告の具体的な表示方法について考える。

【0058】通話時に広告を提供する場合において音声による広告と画像による広告とを比較した場合、音声による広告は通話の妨げになると言った欠点がある。また、音声は聞きたくなくても聞こえるが、表示は気にしなければ良いので、表示のみによる広告の方が利用者にとって好ましいと考えられる。すなわち、音声は聞きたくなくても聞こえるが、表示は気にしなければ良い。そこで、以下に説明する実施の形態では、表示による広告を提供する場合、特に文字列を主体とした広告を提供する場合について、好ましい広告の表示方法について説明する。

【0059】広告を表示する場合には、何気なく見せること、利用者にとって興味がある記事を掲示すること、綺麗な画面で見たい、格好良い画面を見たいと言った利用者の要望を満足させること、長い文字列の広告を一方的に表示しないことなどが重要である。また、利用者の操作性については、ボタン操作を覚えなくても直ぐに対応できるのが良く、何も操作しなくても表示されるのが望ましい。また、一方的に詳細な内容を表示するのではなく、興味ある広告のみ利用者が選択して、その詳細内容を表示し得るようにするのが望ましい。

【0060】そこで本発明では、次の表示方法を採用することで、利用者の要望を満たすようにしている。まず、利用者が何も操作しなくても、着信時（発信時）、通話中及び通話終了時のうち少なくともいずれか1つ以上を含む状態で表示する。特に、着信時と通話終了時に表示するのが望ましい。そのときの広告の表示内容は、メイン画面（タイトル等）を表示する。また、見逃した広告はもう一度見ることができるよう、例えば待機時にボタンが押されたときに、広告画面を再表示する。いずれの広告表示も簡潔な文字列（例えば1つの広告は画面の一行以内）から成る例えばタイトルのみ表示し、タイトルが選択された場合に詳細な情報として、例えば広

告提供元の電話番号、場所の説明、商品の説明、アンケート、発注書、予約等ができる画面を表示する。その際、そのタイトルに対応する宛先に自動的にダイヤリングし、通信料金は広告主側の負担として宛先側から詳細な情報を送信して表示するようにすれば、表示量の制限がなくなり、必要な情報を何ページでも表示することができる。

【0061】以下に説明する実施の形態において、第1の表示形態では、文字列を主体とした各タイトルを携帯電話端末の画面上で横方向にスクロールして順次表示するようにしている。例えばその広告のタイトルを表示中に所定のボタンが押されると、その広告の詳細情報の場所（アドレス）情報を表示するようにしている。すなわち、広告情報は長すぎると見てもらえないので、まず、複数のタイトル（本例では3～5タイトル）から成るメイン画面をスクロール表示する。利用者は興味あれば、その広告タイトルが表示されている間に何らかのボタンを押す。携帯電話端末10の制御部では、ボタンが押されたときのタイトルに対応する広告詳細画面を受信して、或いは携帯電話端末10に予めダウンロードされたデータをメモリから読み出して、ボタン操作に応じてサブ画面1、サブ画面2、……、サブ画面nとして順次分岐して以降のページ情報を表示する。以下に、具体的なメイン画面の構成例を説明する。

【0062】メイン画面は、例えば次の構成（1）～（5）を基本セットとして随時表示する。

- （1）広告サービスのロゴ表示（表示時間：1秒程度）
- （2）レベル1の広告：全国レベルの広告（1～3ページ、50文字程度、表示時間：5～10秒程度）
- （3）レベル2の広告：地方レベル（首都圏等の中規模エリア）の広告（表示時間：5～10秒程度）
- （4）レベル3の広告：地域レベル（セルラ方式の最小単位、市町村レベル）の広告（表示時間：5～10秒程度）
- （5）無料コンテンツの紹介（表示時間：2～10秒程度）

【0063】上記メイン画面のデータは携帯電話端末10のメモリに記憶し、着信時、通話終了時など既定のタイミングで表示する。携帯電話端末10は随時この内容を広告サービス提供用コンピュータ（サーバ）40の指示で更新する。例えば広告のカテゴリ（及び表示順位）を示すレベル1からレベル3の広告のデータは、広告専用サーバ40からのメールで更新する。広告専用サーバ40は、広告のレベルに基づき、端末の基地局情報によって1端末当たり上記レベル1～レベル3の広告データから成る3セットのメールをトラフィックの少ない時に発信する。なお、上記無料コンテンツの紹介では、占い、ゲーム、クイズ、天気予報などのコンテンツを紹介し、実行プログラムを含めて携帯電話端末10側にダウンロードし、無料（通信料金を除く）で提供する。この

無料コンテンツの紹介では、例えば広告要素を有しない内容を含めて上記レベル1～レベル3の広告データに付加して表示する。

【0064】図8は、広告情報の第1の表示形態におけるメイン画面の構成例を示している。本例では、それぞれの広告の内容（タイトル）の区切りをマーク（例えば“*”マーク）で区切り、且つこのマークを広告のレベルの選択情報とすると共に、マークで区切られた内容を広告自体のページ情報とするようにしている。ここで、本発明で言う「ページ」とは、広告の表示単位を示すものであり、マークで区切ったページを広告のメインページとして表示し、その広告のメインページが選択された場合に、その広告の次のページ（本例ではそのタイトルに対応する詳細情報）をサブページとして分岐して表示するようにしている。また、本発明で言う「レベル」とは、広告内容のカテゴリ（全国版、地方版等の分類）を示すものであり、本例ではこのレベルを表示の優先順位としても処理するようにしている。

【0065】図8の具体例では、広告の内容を“*”マークで区切ると共にマークの個数でレベルを表現し、マークが1個のときは全国、2個は地方、3個は市、4個は無料コンテンツ、5個は終了の認識に使用している。各レベル（本例ではレベル1～4）の広告は1つ又は複数の広告で構成され、1つの広告は1行又は複数行で構成される。表示方式としては、マークで区切られた各広告を画面上で右から左に流れるようにスクロール表示するのが効果的である。同図8の例では、表示開始を示すマークを兼ねた広告サービスのロゴに続いて、レベル順にスクロール表示される。すなわち、全国レベル1の広告を3種類順次表示し、続いて地方レベル2の広告を3種類、市町村レベル3の広告を2種類、無料コンテンツの紹介を3種類、それぞれ“*”マークと共に表示し、最後に表示終了を示すマーク（本例では“END”）を表示する。なお、マークで区切られた内容を表示するウィンドウと、当該広告主のサービスキャラクタを表示するウィンドウとを分割して両者を表示するようにしても良い。

【0066】そして、本例では、スクロール表示中に“*”マークが例えばセンター画面より通過した時に何らかのボタンが押されると、その広告の詳細内容のページに飛び、そのページ内容を表示するようにしている。また、“*”マークが表示されていなければ広告内容のページを取得して、そのページの先頭から再度表示するようにしている。本発明では、上述のような表示方法により、着信時は着信信号を基に相手先番号と共に広告の内容を表示し、通話ボタンが押されると広告表示を消し、通話終了時において数秒後に再度（例えば15秒～30秒間程度）表示する。また、待機時は利用者が所定のボタンを押すと再度表示する。利用者は、これらの広告表示時に興味有る内容があれば、所定のボタンを押し

て詳細の広告画面の表示を指示する。

【0067】以下に、上記のようなメイン画面の構成を例として、広告情報の第1の表示形態を採用した場合の動作例を図9のフローチャートに沿って説明する。なお、通話料金割引サービスの処理については、フローチャートを用いて説明した前述の動作例（着信時の処理等参照）と同様のため、説明を省略する。また、着信時、通話終了時の広告表示の動作は待機時と同様のため、ここでは、待機時の広告表示に係る動作例を例として説明する。

【0068】待機状態で広告表示ボタン（本例では、待機状態では未使用の通話切ボタンを広告表示ボタンとして割当てている）が押下されると、携帯電話端末10の制御部（CPU11）では、メモリから広告のメイン画面のデータを読み出し、先ず広告サービスシステムのロゴ（サービス名又はサービスキャラクタ）を画面上に表示する（ステップS41）。続いて、レベル1の広告を所定時間表示する。本例では、レベル1の広告は全国レベルの広告であり、携帯電話端末10の画面上で横スクロールして表示する（ステップS42）。そして、その広告が表示されている時、例えば広告（タイトル）の後に付加された区切りマーク“*”がセンター画面より通過して画面上から消える前に、ボタン（本例では、通話切ボタン以外のボタン）が押されたか否かを判定し（ステップS43）、押されたのであれば次のページ情報の表示指示と判断してスクロール表示を一時中断し、例えばサーバ40と自動接続してその広告の次のページ（詳細説明のデータ）を受信し、詳しい説明を表示する（ステップS44）。

【0069】そして、詳しい説明の表示が終了したのであれば画面を切替えてスクロール表示を再開して当該レベルの次の広告を表示する（ステップS45）。なお、“*”マークが表示されていない状態でボタンが押された場合、すなわち1ページの情報が画面枠に収まらず、“*”マークが存在しない状態でボタンが押された場合は、再表示の指示と判断して同一ページの情報を取得し、そのページの先頭から再表示する。以降、レベル2の広告、レベル3の広告、無料コンテンツの紹介を順次表示して行く。レベル2、3の広告の詳細内容の表示についてもレベル1の広告と同様に、ボタン操作による指示がされた場合に表示する（ステップS46～S50）。また、無料コンテンツの紹介で、例えば“ゲームコーナ”を表示中にボタンが押されたのであれば、当該ゲームのプログラムを起動して当該ゲームを実行する。その際、複数のゲームを表示してボタン操作で選択されたゲームを実行するようにしても良い（ステップS51～S53）。そして、最後に表示終了を示すマークを表示して、広告の表示動作をすべて終了する。

【0070】なお、広告の詳細説明のデータや無料コンテンツの紹介に関するプログラムを含む詳細データは、

メイン画面と共にメールで送信して携帯電話端末10のメモリに記憶しておき、そのデータを読み出すようにしても良い。また、ボタン操作による指示がされた場合に広告専用サーバ40から受信する形態と、予め送信して携帯電話端末10のメモリに記憶しておく形態とを、詳細データの量に応じて広告専用サーバ40側で自動的に選択するようにしても良い。

【0071】次に、メイン画面と広告の詳細内容の第2の表示形態について説明する。

【0072】図10は、広告情報の第2の表示形態におけるメイン画面の構成例を示している。広告内容は全国レベルと地方レベル、市のレベルで広告主が変わるので、上述した第1の表示形態では、レベルを2～3種類にして順次流すようにしたが、第2の表示形態では、同時に複数種類（3～4つ程度）の広告内容を画面上に表示する方式としている。具体例としては、同図10のように内容別に表示列を設け、1番上は全国、2番目は地方、3番目は市のレベルの広告、4番目は無料コンテンツとし、これらの表示列を画面上に表示し、1画面に入りきらない場合には、例えば着信電話番号の表示部、“広告”の見出し以外の部分を横スクロールで流す様に表示若しくは画面切替えにより表示する。これらの中から所望の広告、コンテンツの詳細情報を得る場合は、例えばカーソルで上下に移動してカーソルの指示した項目のページにジャンプし、その詳細情報を得る。この様にすることにより、広告量の増大、選択の幅を増やすことができるといった効果が得られる。

【0073】次に、広告の受付処理の具体的な動作例を、図11のフローチャートの流れに沿って説明する。

【0074】広告の依頼主（依頼者）は、パーソナルコンピュータ等の通信機能を有する端末から例えばインターネットを利用して出稿する。広告主の端末から出稿依頼を受けた広告サービス提供用コンピュータ（サーバ）40では（ステップS61）、先ず、広告の提供対象となる主用な顧客の選択画面を依頼主側の端末にダウンロードして画面表示する（ステップS62）。広告の依頼主は、広告の提供対象を限定する場合には上記選択画面にて広告の提供対象を選択し（ステップS63）、選択した顧客を対象とした宣伝内容の書込み、絵の貼りこみ等をして広告を作成して送信する。選択対象は顧客の年齢層、性別、職業、趣味、住所などであり、これらの選択画面より、選択し顧客の絞込みができるので、従来の宣伝媒体より効果的な宣伝が可能となる（ステップS64）。

【0075】サーバ40では、依頼者の端末側で作成された広告のデータを当該端末から受信して選択画面にて選択された提供対象の顧客に対応付けて記憶する（ステップS65）。そして、広告情報を携帯電話端末10側に提供する際に（ステップS66）、上記選択画面の選択情報、及び携帯電話端末10の加入者情報に基づいて

当該カテゴリの広告の提供対象となる顧客を判断し（ステップS67）、該顧客の携帯電話端末10を対象として当該カテゴリの広告情報を提供する（ステップS68）。

【0076】このように、顧客の年齢層、性別、職業、趣味及び住所のいずれかの要素を少なくとも1つ以上を含むカテゴリに対応して広告の内容を設定しておき、携帯電話端末若しくは広告の提供サービスシステムの加入者情報に含まれる個人情報に基づいて上記カテゴリに対応する携帯電話端末を選択し、該携帯電話端末を対象として当該カテゴリの広告を提供する方式を採用することで、無用な顧客に見せずにも済むと言う効果が得られる。例えば女性化粧品の宣伝を男性に送ると迷惑となるが、性別を判断して女性のみを対象とすることで回避することができる。

【0077】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明によれば、携帯電話端末に表示される広告表示の対価として、その携帯電話端末を所有する個人の通信料金を割引くようにしているので、利用者自身の通信費用を安価にすることができる。また、個人情報に基づいて当該利用者の年齢層、性別、職業、趣味、住所などのカテゴリに応じた広告を自動的に選択し、該当の携帯電話端末のみを対象として当該カテゴリの広告を提供するようにすることで、広告の目的にあった特定の購買層に絞った広告を提供することが可能となり、また、顧客にとって無用で迷惑となる広告を送ってしまうのを回避することが可能となる。さらに、携帯電話端末の現在位置情報に基づいて当該地域の広告を自動的に選択して表示することで、その地域に応じた広告を表示することが可能となる。そして、面白い広告が提供できれば更なる人気をもたらされ、通信施設業者の競争力の強化、広告提供者の利益に貢献することができる。

【0078】また、音声による広告の場合、着信時に発声する宣伝音にはメロディを入れるようにしているので、広告主に対して嫌な印象を与えるなどの逆効果を回避することができる。さらに、携帯電話端末に表示された画像に含まれる質問事項に対して入力された利用者の回答データを、自動的に送信して集計処理することで、携帯電話端末を入力手段としたマーケティング調査を自動的に行うことが可能なシステムを安価に実現することができる。また、広告を携帯電話端末の画面上に表示する際には、例えば最初のページを表示して次のページ以降を選択可能に表示するようにしているので、利用者にとって興味の無い広告を一方的に表示してしまうのを回避することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯電話システムの全体構成の一例を示すブロック図である。

【図2】本発明に係る広告データの処理の流れの一例を

示す模式図である。

【図3】本発明に係るデジタル携帯電話端末の構成の一例を示す模式図である。

【図4】本発明に係る携帯電話端末の着信時の処理を説明するためのフローチャートである。

【図5】本発明に係る携帯電話端末の待機時の処理を説明するためのフローチャートである。

【図6】本発明に係るアンケート形式の広告の処理を説明するためのフローチャートである。

【図7】本発明に係る懸賞付き広告の処理を説明するためのフローチャートである。

【図8】本発明に係る広告情報の第1の表示形態におけるメイン画面の構成例である。

【図9】本発明に係る広告情報の第1の表示形態における動作例を説明するためのフローチャートである。

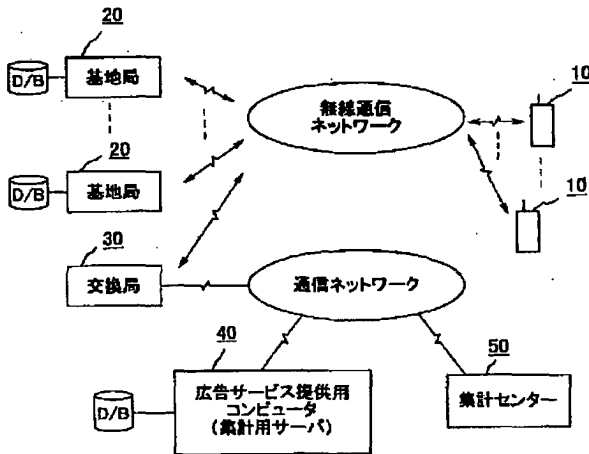
【図10】本発明に係る広告情報の第2の表示形態におけるメイン画面の構成例である。

【図11】本発明に係る広告の受付処理の具体的な動作例を説明するためのフローチャートである。

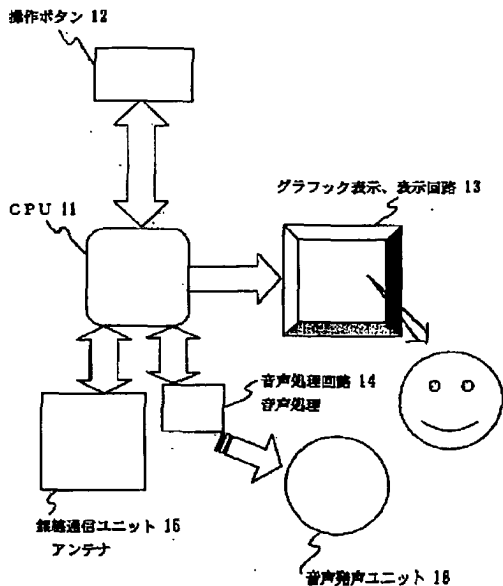
【符号の説明】

- 10 携帯電話端末
- 20 基地局
- 30 交換局
- 40 広告サービス提供用コンピュータ（集計サーバ）
- 50 集計センタ

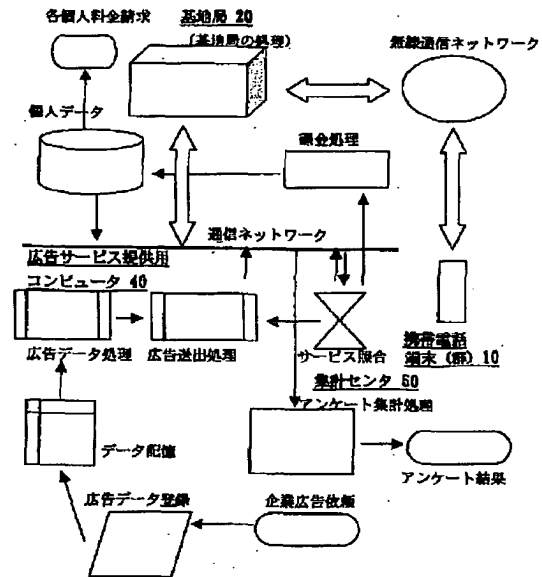
【図1】



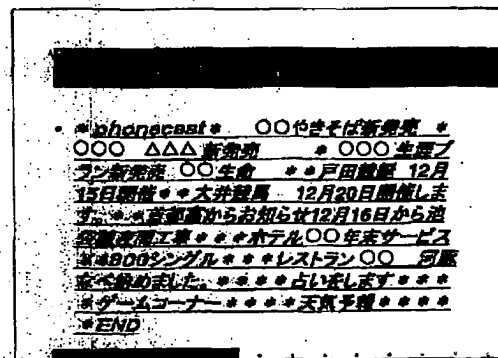
【図3】



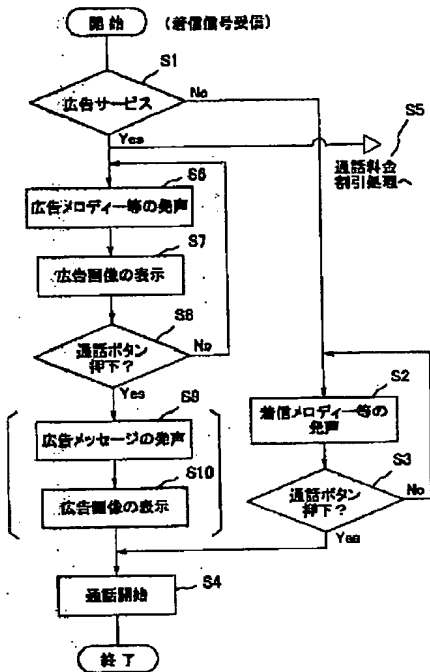
【図2】



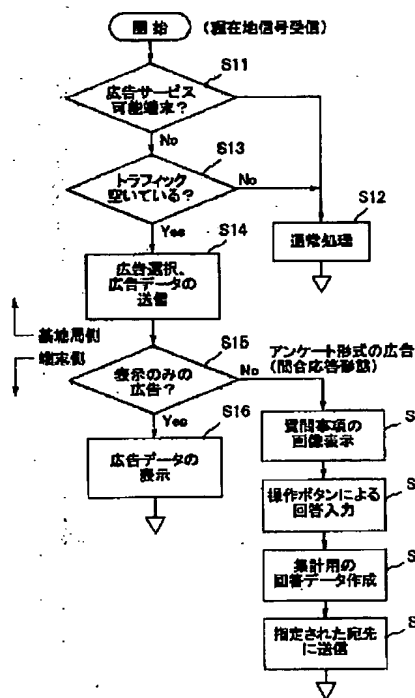
【図8】



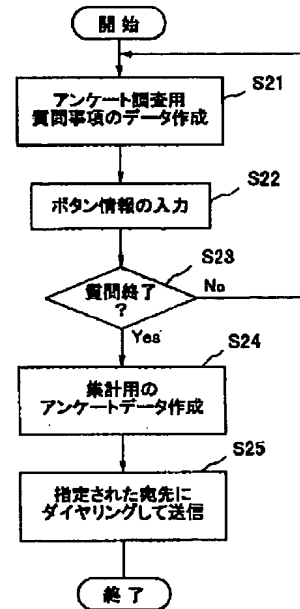
【図4】



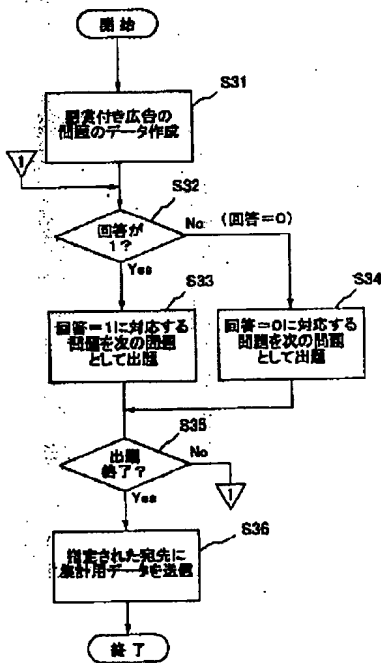
【図5】



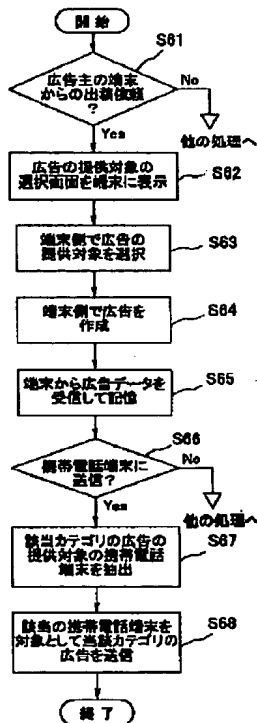
【図6】



【図7】



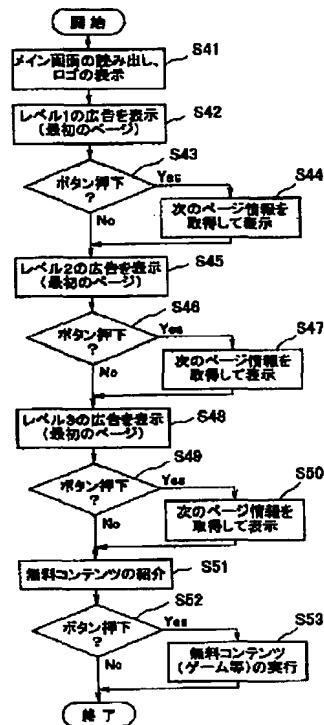
【図9】



【図10】

着信09033355777
 広告 ○○○の新車発売★
 □□競馬12-17開催
 ホテル△△クリスマスパーティ
 占います、天気予報

【図11】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
H04M 15/00

識別記号

FI
G06F 15/21
H04Q 7/04

テーマコード(参考)

Z 5K101
H

Fターム(参考) 5B049 AA00 BB11 CC02 CC36 EE01
EE07 FF01 FF06 FF07 GG03
GG04 GG06
5B089 GA25 HA13 JA33 JA38 JB03
JB05 JB22 KA16 LB14
5K015 AA00 AB00 AB01 AF00 GA04
GA07
5K025 AA08 BB01 BB03 DD05 DD06
EE08 EE09 EE16 EE17 GG10
5K067 AA21 AA29 AA44 BB04 DD52
DD54 DD57 EE02 EE10 EE16
EE23 FF04 FF05 FF07 FF13
FF23 FF26 GG06 HH01 HH07
HH13 JJ52
5K101 KK16 LL12 MM07 NN12 NN18
NN21 NN22 RR11 RR27 RR28
SS07 SS08 TT02